

鷺坂にして作る歌一首

一六八七番

白鳥しらとりの 鷺坂山さぎさかやまの 松陰まつかげに 宿りやどて行ゆかな 夜よも  
ふけ行ゆくを

名木川なきがはにして作る歌二首

一六八八番

あぶり干ほす 人もあれやも 濡ぬれ衣ぎぬを 家いへには遣や  
らな 旅たびのしるしに

一六八九番

荒磯ありそへ辺へに つきて漕こがさね 杏人ももさねの 浜はまを過すぐれ  
ば 恋こひしくありなり